

## 第 108 回 ほほえみ 開催

3月28日（水）第108回 ほほえみを開催しました。  
10名の方が参加してくれました。

今月は祝日の関係で、第4週の開催となりました。  
いつもと違う週での開催となったため、参加者が少なくなるかと思っておりましたが、先月よりも多くの方に参加していただけだったので良かったです。

最近の暖かさで雪もどんどん融けてきて、外出しやすくなってきました。このまま春になってくれれば良いのですが、もうひと雪が来るのでしょうか・・・。



次回のほほえみは、4/18（水）14時から16時まで  
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局】

### 『今を乗り越える希望を』

（がん体験記）

ほほえみのみなさん、こんにちは。北海道の寒さは、アラスカのようなのでしょうか？  
12月にプロのピアニストが、私たちの教会にコンサートに来てくださいました。  
彼女は、数年前に、乳がん、その一年もたたずの内に、直腸がんの手術と治療を受け、二つのがんと共存しつつ日本中でコンサートを開いています。その音色は力強く、聴く者を魅了します。

私は父を胃がんで30年前に亡くしましたが、父は希望を捨てませんでした。私も子どもなりに、進学した先の近くの病院に転院させようかと考えました。自分に合うサロンや、心が打ち解ける人との出会いを願います。病気になると、あたかも、その専門医となった気になる人もいました。サロンは議論する場ではなく、ほっとするところです。笑顔で居られると良いですね。

行政の力、職場の理解、自分に合う治療、家族の力、どうか時間をかけて、最善を見つけたいです。東日本大震災、九州のがん治療は難しい状況です。筋ジストロフィー、エイズも、死と向かい合う病・・・聖書の中に「自分を愛するように、となり人を愛しましょう」があります。互いに支え合い、少しでもいつくしむ心と愛をもって、遠く関西より祈っています。

（和歌山県／女性／胃がん／家族）